

# 平成29年度 第9回 猿投地域会議 会議録

日時 : 平成29年11月30日(木) 午後7時~8時50分

場所 : 猿投北交流館 大会議室

出席者 : 地域会議委員 17名

会長 野々山富士子

副会長 羽根田信行

委員 磯谷吉康 梅村金成 梅村貞義 大澤博幸

大橋志津子 大村誠治 久米志寿夫 近藤正治

近田昇 近田平夫 都築弘美 羽根田茂法

原田俊之 山田和孝 山田宏之

猿投支所 藤井美彰 酒井 齊 松田吉範

猿投北交流館 野田五夫

欠席者 : 3名

傍聴人 : なし

次第 : 1 地域会議会長あいさつ

2 平成30年度わくわく事業について

3 平成30年度地域予算提案事業について

4 わくわく事業の活動状況報告

5 事務連絡

議事等(要約) : 市民の誓い唱和

1 地域会議会長あいさつ

2 平成30年度わくわく事業について

7月から8月にかけて猿投5地区の地域会議委員に行ったわくわく事業審査方法に関するアンケート結果を確認し、見直し意見をまとめた。これら意見を来年1月10日の猿投代表者会議での猿投地域会議の意見とする。

(意見まとめ)

① 審査勉強会は来年度も行う方が良い。

② 継続申請4回目以降の団体の審査項目は、事務局案で良い。

・ハードルが上がりすぎないか心配する意見もあったが、4年以上継続する事業は、税金を使う以上、一定の基準が必要。

③ 4回目以降の団体の申請書は案2「継続して申請する理由を記入」とする。

④ 猿投地域は従来、プレゼンテーションを一定条件で不要としてきたが、平成30年度からはすべての団体がプレゼンテーションを行うこととした。

・プレゼンテーションによって事業内容が分かるので実施すべき。

・1年目の委員にとっては、プレゼンテーションを行ったほうが審査しやすい。

・団体に負担のない簡易なプレゼンテーションでも良い。

3 平成30年度地域予算提案事業について

「高齢者健康長寿サポート事業」の中で実施する「高齢者支援に関する意識調査」の設問を検討した。高齢者を支える側と高齢者として支えられる側の各2グループに分かれて設問案を出し合った。

今回の設問案を整理し、12月以降さらに協議を深めていくこととした。

【A グループの主な案】支える側

- ・市のサービスを知っていますか（知っているものに○）。
- ・地域の民生委員を知っていますか。
- ・簡単な生活支援に取り組む「お助け隊」が立ち上がったら利用しますか。
- ・気軽に集える場所（公民館等）を設けたら参加しますか。

【B グループの主な案】支える側

家に閉じこもっている方や独居の方を対象にする

- ・一緒にお茶を飲むようなお仲間はいますか。
- ・趣味はありますか。
- ・家族は近くにいますか。

【C グループの主な案】支えられる側

- ・定期的な訪問を受けていますか。（定期的に訪問してほしいですか。）
- ・健康につながるような食事を意識してとっていますか。
- ・認知症対策はしていますか。
- ・定期検診を受けていますか。
- ・健康体操はしていますか。

【D グループの主な案】支えられる側

- ・家族構成は。
- ・地域活動や趣味の活動はしていますか。
- ・同じ境遇の人（一人暮らし、障がい等）と触れ合う場はありますか。
- ・悩みごとの相談先は知っていますか。
- ・心配ごと、気になっていることはありますか。

#### 4 わくわく事業の活動状況報告

団体名・事業名	報告内容（報告委員）
さなげ台愛護会・さなげ台団地内外の生活環境改善	11月1日に活動確認（台風のため延期）。南山高校前のバス停付近で10名が参加し街路樹の落ち葉集め、草刈など実施。オレンジ色のベストを着用し、交通安全にも配慮しながら、歩道と土手の広い面積をきれいにしていた。（都築）

#### 当日配布「猿投防犯ハンドブック」

猿投防犯ハンドブックの完成原稿を確認し、表紙のデザイン等を検討した。さらに意見等があれば、12月8日（金）までに事務局へ伝えることとした。

#### 5 事務連絡

- ・地域会議委員の公募について  
応募1名、12月21日（木）に面接・審査の予定  
各自治区推薦は12月中に依頼予定、書類の提出期限は2月13日
- ・次回の会議について  
日時：平成29年12月21日（木）午後7時から  
場所：猿投北交流館 大会議室  
内容：地域予算提案事業について